

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮商業高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者の期待やニーズを把握するために、全保護者、全生徒対象の「学校改善アンケート」や「新入生意識調査」等を実施している。学校に寄せられる期待に十分応え、伝統ある商業高校としての特色や強みを更に生かしたものとなるようにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	生徒の学力や進路の実態などを踏まえ、重点目標が設定されている。学校内外の環境分析などを踏まえ、目指す学校像の実現に向けての中期的な目標となるように、開かれた学校づくりの視点を含めて更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標を踏まえて、分掌・学年等で取り組まれている。評価項目が、重点目標の実現に向けた年度達成目標としては抽象的なもので、明確かつ重点化された目標となるように工夫するとともに、学校自己評価システムを適切に運営するため、組織間の連携を強化し、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	検定試験合格者数の増加に向けて実践的職業教育グローバル事業や埼玉県高校生専門資格等取得表彰奨励事業を活用するなど、企画委員会で方策を策定し、課題の解決のために取り組んでいる。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校経営ビジョンを示し、課題の解決の方向を示している。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校評価懇話会で出された意見を基に、学校自己評価のための情報が収集されている。今後は学校関係者の意見やアンケートの結果等の分析を更に進めて達成状況や課題を検証し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			